



市民の皆さん、ご存知ですか？

相模原市は財政はたん寸前！ なぜ？

2010 年(12 年前)「政令指定都市」への移行条件として、県が進めていた道路・施設の大型建設費用約 490 億円を肩代わりしました。

272 億円: 「圏央道」相模原部分

190 億円: 「新小倉橋」

28 億円: 「相模原赤十字病院」



それ以来、高齢化・人口減少もあり、経常収支比率は要注意水準の 80% を大きく超える 100% 前後で推移し、2016 年度には 20 政令市中ワースト 1 位に。家計に例えると 100 万円入ったら、100 万円使い、新事業には借金せざるを得ない「火の車」状態です。

この状況下、昨年 12 月議会で市長・副市長・議員報酬の増額が提案されましたが、私は反対投票しました。

一般職員は別として、市民から選ばれた「市政のリーダー達」には、「危機意識」と「自ら身を切る」姿勢が強く求められます。